

小規模特別養護老人ホーム 昂

令和5年度事業報告書

1. 職員の配置状況

(当該年度 3月31日現在)

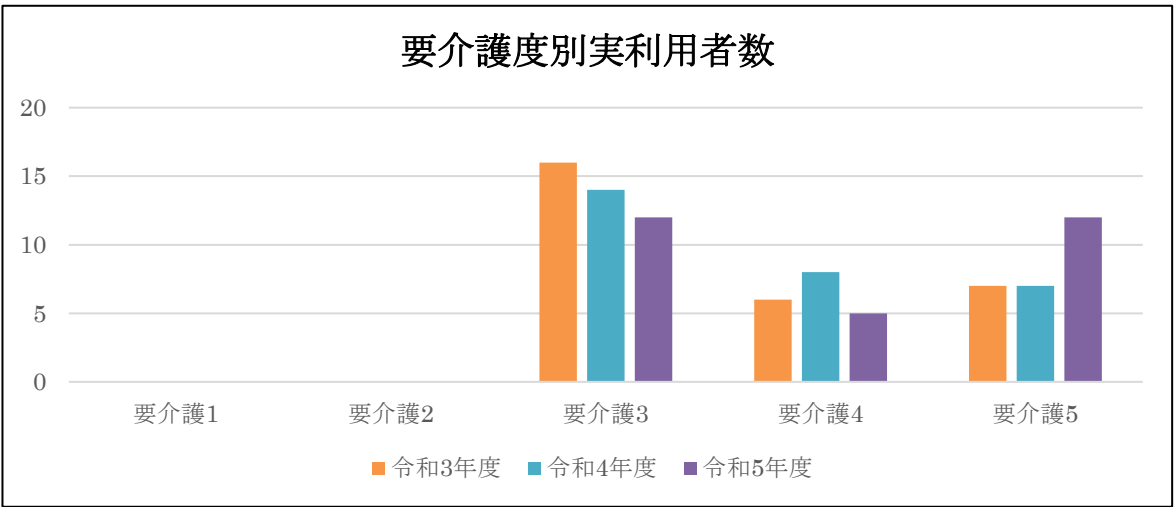
職 名 区 分	施設長	管理者	介護支援専門員	生活相談員	医師	看護師	機能訓練指導員	介護職員	栄養士(管理)	事務員	環境整備員	合 計
基準定数 ・・・①	1		1	1	(1)	1	1	10	1			16
正規職員の配置 ・・・②	1		1	1		1	1	15	1	1		22
正規職員以外の配置 ・・・③					(1)		2	5			2	9
現 員 計 ②+③=④	1		1	1	(1)	1	3	20	1	1	2	31

※ 基準定数は、人員に関する基準に基づき算定される員数を記入。

※ 嘱託医は、〔 〕内で記入。

2. 利用者の状況

(当該年度 3月31日現在)



*平均介護度 (令和3年度 3.62、令和4年度 3.75、令和5年度 4.0)

(1-1) 入退居状況（月別）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入居	0人 (1)	0人	2人	0人	0人	1人	0人	2人 (1)	0人	2人	2人	2人 (2)	11人 (4)
退居	0人 (2)	0人 (1)	2人	0人	0人	1人	0人	2人 (1)	1人	4人	1人	1人 (1)	12人 (5)

＊（ ）は、短期入所利用者数

(1-2) 入退居状況（性別）

	男	女	計
入居者数	5人	6人	11人
退去者数	4人	8人	12人
入居者在籍数	10人	19人	29人

(2) 月別申込み状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	3人	1人	3人	0人	3人	0人	0人	0人	0人	0人	5人	2人	17人

(3) 利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延べ 人数	826人	895人	861人	899人	899人	866人	899人	834人	899人	866人	793人	852人	10,389人
稼働率	94.9%	99.5%	98.9%	100%	100%	99.5%	100%	95.8%	100%	96.3%	94.2%	94.7%	97.8%

＊月平均稼働率は97.8%で事業収入は前年比で約544万円増収した。下半期では入院者やご逝去された方がおり稼働率の減少幅が大きかったが、直近の待機者が少なく、すぐに入居に繋がらなかったため、空床期間が短縮できなかったことも要因の一つと考える。

(4) 逝去場所

昂	病院	ご自宅
12人	0人	0人

(5) 年齢層分布

年齢層	女性	男性	合計
63-74歳	0人	1人	1人
75-84歳	2人	1人	3人
85-94歳	10人	5人	15人
95-104歳	7人	3人	10人
計	19人	10人	29人

(6) 利用者負担軽減状況

負担段階	人数	割合
負担限度 1	0 人	0.00%
負担限度 2	2 人	7.14%
負担限度 3①	3 人	10.71%
負担限度 3②	7 人	25.00%
負担限度 4	16 人	57.14%

(7) 事故・ヒヤリハット報告

事故報告は転倒・転落事故関連が全体の約 8 割、ヒヤリハット報告では約 6 割を占めた。

事故発生時の時間帯は朝、夕方の時間帯が多かった。

- ・事故報告 29 件　うち、1 件は右上腕骨骨折による重大事故あり新潟市へ報告。
- ・ヒヤリハット 111 件

3. 利用者処遇の充実の状況

(1) ケアカンファレンス実施状況

(当該年度 3 月 31 日現在)

	開催回数		定例開催日	記録の有無	参加職種
	定例	臨時			
雪ユニット	12	0	不定期	㊟・無	機能訓練指導員、 看護師、ケアマネージャー、 管理栄養士、生活相談員、 居室担当または、 ユニットリーダー
月ユニット		0			
花ユニット		0			

(2) 機能訓練実施状況

①生活上機能訓練

【生活リハビリ】

一連の食事行為練習 : 毎日 15 名
 一連の整容行為練習 : 毎日 0 名
 一連の排泄行為練習 : 毎日 1 名
 姿勢変換保持練習 : 毎日 2 名
 言語機能訓練 : 毎日 1 名
 摂食嚥下機能訓練 : 毎日 6 名
 構音機能訓練 : 毎日 1 名
 起居・移乗動作練習 : 毎日 1 名
 歩行・移動練習 : 毎日 1 名

【作業リハビリ】

洗濯物たたみ : 毎日 1 名
 書字練習 : 毎日 1 名

②運動機能訓練

【運動器リハビリ】

関節可動域訓練 : 適宜 4 名
 歩行・移動練習 : 適宜 9 名
 起居・移乗動作練習 : 適宜 1 名
 筋力維持・増強訓練 : 適宜 7 名
 姿勢変換保持練習 : 適宜 4 名
 対人関係練習 : 適宜 1 名

③その他

歯磨き・更衣等における日常生活関連動作の促し：毎日 19 名

(3) 虐待防止に向けた取り組みの状況

①施設の体制について

- ・3 ヶ月に一回全体会議にて、経過報告。
- ・虐待（の疑い）があった場合、口頭又は施設内に4か所の苦情受付箱を設置。
- ・担当者の名前を重要事項説明書に明記。
- ・第三者委員を含めた苦情相談窓口の掲示。

②虐待防止に向けた施設での取り組みについて

- ・虐待の芽を早期発見に努める。
- ・虐待防止について勉強会開催

③虐待の芽を早期に発見する為の具体的な取り組みについて

- ・毎月のカンファレンス時に、ケアに関する困りごとについて各々の対処法を共有し、方向性を統一。職員の前向きな気持ちや不安な気持ちも理解した上で、各専門職の意見を聞き、改善策を検討する。

(4) 嘱託医師の回診の状況

週1回水曜日の午前に昂診療所にて嘱託医による往診を行なっている。

往診内容：入所者様の診察、創処置、検査指示、薬の処方、入所者様及び、ご家族様への病状説明、診療相談・指導、主治医意見書作成、診療情報提供書作成、年1回の健康診断、ワクチン予防接種、看取りの方等の死亡確認。
往診日以外に入所者様の体調に変化があった場合は、看護師から嘱託医に速やかに報告、指示のもと対応。

(5) 食事の状況

・食事時間

朝食 7:30～9:00 昼食 12:00～13:30 おやつ 15:00 夕食 17:30～19:00

・食費

朝食、昼食、夕食 = 1,445 円（減額有） おやつ = 100 円

・食事形態

（在籍者数 29 人 当該年度 3 月 31 日現在）

常食	刻みトロミ	ムース食	ミキサー食	経管栄養	メイバランス・ソフトゼリーのみ
8 人	8 人	3 人	7 人	0 人	3 人

・代替食

各入居者の好み等により個別に対応（ごはん or パン食(朝食)、牛乳 or ヨーグルト、肉禁等）

・栄養年報（※経管栄養の方を除く）

	エネルギー	たんぱく質	脂質	カルシウム	食塩相当量
給与目標量	1,547Kcal	60.5g	43.6g	636mg	6.8g
給与栄養量	1,525Kcal	50.9g	41.1g	618mg	7.4g

(6) 入浴の状況 (当該年度 年間実績)

入浴内容 区 分	一般浴	特別浴	リフト浴
延べ入浴者数	0 人	1,548 人	929 人
1 人当たり週回数	週 回	週 2 回	週 2 回
実施（曜日）	実施日無し	月～土曜日	月～土曜日
入浴時間帯	時 分～ 時 分	9 時 00 分～16 時 00 分	9 時 00 分～16 時 00 分
介護員数	0 人	2 人	1 人

(7) 身体拘束の有無 (当該年度 年間実績)

身体拘束の有無	記録の有無	同意の有無	理 由
無	無	無	特になし

(8) 行事・ボランティア活動 (当該年度 年間実績)

月	活動内容
4 月	昴庭お花見、お誕生日会
5 月	いなり寿司の提供、お誕生日会
6 月	お誕生日会
7 月	納涼会、お誕生日会
8 月	お誕生日会
9 月	敬老会、お誕生日会
10 月	収穫祭、お誕生日会
11 月	お誕生日会
12 月	クリスマスパーティ、お誕生日会
1 月	お誕生日会
2 月	生寿司提供、お誕生日会
3 月	お茶会、ひな祭り、お誕生日会

*その他、ユニット毎の行事・レクリエーションや個別外出等あり。感染状況をみて対策を行いながら、施設全体の行事を実施。

(9) 防災訓練実施の状況

①火元責任者自主検査チェック表

全職員に向け担当区域毎に「火元責任者」を割り振り、毎月実施。

9 月・3 月には追加で「構造関係」「避難関係」「電気器具」のチェックを実施。

また、令和 5 年度の新入職の職員、新規担当者を対象に説明会を実施。

②避難訓練

9 月 20 日と 3 月 27 日に実施。

3 月の避難訓練では、令和 6 年 1 月 1 日に発生した地震時での実際の動きに対しての反省を基にどの様な流れで避難か様子見か判断をしていくかの検討を行った。

また、エレベーター使用不可時の入居者様の昇降をどうしていくかの検討も行う。

入居者様の昇降に関して、上昇避難は男性職員が2名以上いる場合には行うことができる(1月1日地震発生後での避難状況を振り返り)が、降下避難に関しては男性3～4名でないと担架での降下避難も難しい方が数名いる為、どうするかを検討が必要である。

(10) 運営推進会議の状況

開催日：2ヶ月に1回 第4水曜日 13:30～14:30

構成員：地域住民代表者（自治会長・山潟地区民生委員）、地域包括支援センター、かめだ本町の里代表者、ご利用者様代表、ご家族様代表、当該事業知見者、当該施設代表（施設長）、当該施設職員（生活相談員）

内 容：利用者状況報告（入退所状況・入所者変動・空所利用状況等）

事故報告・ひやりはっと件数報告・苦情相談内容報告

サービス活動状況報告・サービスへの要望及び助言

その他 前回懸案事項についての報告・回答

*しばらく開催できていなかったが、新型コロナウイルス感染症も落ち着き始め、11月より再開する。

4. 苦情解決体制の整備の状況

(1) 苦情解決の仕組みの周知方法の状況

(当該年度 年間実績)

利用者への 周知方法	窓口等への提示	会報等への掲載	契約締結時の説明	その他
	⑦ ・ 無	有 ・ ⑧	⑦ ・ 無	
受付けた苦情 内容及び解決 結果の 公表方法	事業報告書への掲載		会報等への掲載	その他
	⑦ ・ 無		⑦ ・ 無	重要事項及び契約書に記載・施設内掲示

(2) 相談受付件数及び概要

①要望件数 1件

【内容】「雪の降る前に県外にある墓へお参りに行きたい」とご家族様に対する要望あり。

【対応】傾聴後、ご家族様へ相談。「日帰りでも連れて行くのは難しい。また、暖かい時期で検討してみます。」とご家族様から前向きな返答があった。今後もご家族様と情報共有し出来る限りの対応をしていく。

②苦情件数 1件

【内容】「移動販売店は無くなったのか」と問い合わせあり。中止や再開に連絡がないことについて苦情あり。

【対応】感染症対策上の理由で中止、予め説明することを怠っていた。感染症の部類も引き下げられた為、再開時期について検討する事となる。

5. 短期入所生活介護（空床型）事業の状況

・短期入所生活介護の概要（空床型）

特別養護老人ホームの入居者が、長期入院や退所などで長期に渡り空床が生じた場合、短期入所生活介護として要支援1から要介護5の方を対象にご利用頂くことが可能。

・年間実績

今期は3名利用。うち2名は、入所予定者であった為そのまま入所。他1名はご本人様・ご家族共に、第一希望の他施設への入所希望あり、ショートステイ利用期間後に退所となった。

・問題点

2～3週間の入院にて空床が出るも、ロング利用の問い合わせが数件あり。ご希望の利用期間と空床が一致せず利用に至らないケースが多かった。

・対応策

病院、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター等と空床状況を共有。また、担当区域の新潟市地域包括センター山潟との連携を図る。

6. 待機者の状況

（当該年度 3月31日現在）

介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数 (人)	2	2	4	7	2	17

*ケアマネージャー紹介の他、個人からの問い合わせや、見学から申し込みに繋がったケースもあった。

7. 職員の資質の向上等人材育成の状況

(1) 職員会議・委員会等の開催状況

（当該年度 年間実績）

会議名	開催回数		定例 開催日	記録の有無	参加職種
	定例	緊急			
運営会議	12	1	第一木曜	○有・無	施設長、副所長、看護師、 ケアマネージャー、 生活相談員、管理栄養士、 各ユニットリーダー
ユニットリーダー会議		0	第二木曜		副所長、各ユニットリーダー
事故防止委員会		1			
全体会議		0	第三木曜		施設長、副所長、看護師、 ケアマネージャー、 生活相談員、管理栄養士、 各ユニットリーダー、介護職員
入所判定会議		1			

感染症対策委員会	12	0	第三木曜	(有)・無	施設長、副所長、看護師、 ケアマネージャー、 生活相談員、管理栄養士、 各ユニットリーダー、介護職員
身体拘束廃止委員会		0			
虐待防止委員会		0			

(2) 職員研修の状況

(当該年度 年間実績)

令和5年度 研修実績					
	主催	研修名	実施日	参加者	備考
内部研修	研修委員会・災害対策委員会	感染症・食中毒の予防及び、蔓延防止に関する研修	4月	全職員	E ケアラボ
		身体拘束に排除の為の取り組みに関する研修	5月		
		プライバシー保護の取り組みに関する研修	6月		
		非常災害時の対応に関する研修	7月		
		倫理及び法令順守に関する研修	8月		
		医療に関する教育・研修	9月		
		認知症及び、認知症ケアに関する研修	10月		
		ターミナルケアに関する研修	11月		
		事故発生又は、再発防止に関する研修	12月		
		精神的ケアに関する研修	1月		
		緊急時の対応に関する研修	2月		
		虐待防止の基礎	3月		
	施設内勉強会	コロナ感染症蔓延予防に関する研修(※隔離対応練習実施)	4月	全職員	感染対策委員会
		第一回 口腔研修	6月		歯科医
		第二回 口腔研修	12月		医 務
		看取り介護の勉強会	2月		身体拘束廃止委員会
		身体拘束勉強会	3月		
外部研修	研修センター	福祉現場におけるトラブル対応研修	5月	増田明誉	社会福祉協議会
		コミュニケーション力向上研修	6月	玉木和美	
		令和5年度 新潟県高齢者虐待防止研修	7月	熊倉千陽	
		福祉職員キャリアパス対応生涯研修過程(初任者コース)	8月	並木 瞭	
		福祉職員キャリアパス対応生涯研修過程(中堅職員コース)	8月	阿部一恵	
		福祉職員キャリアパス対応生涯研修過程チーム(リーダーコース)	8月	大坂綾子	
			9月	齋藤瑞稀	
		気づく力研修	9月	山岸琴音	
		ストレスマネジメント研修	12月	樽木洋子	

その他	新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけ変更等に係る全医療機関説明会	4 月	高橋智美	新潟市保健所
	防火・防災管理講習	6 月	並木 瞭	新潟市消防局
	5 類移行後の高齢者施設等の対応について 施設等において取り組むべき ACP(アドバンス・ケア・プランニング)について		白井恭子	新潟市介護保険課
	令和 5 年度 新潟県・新潟市病院勤務以外の看護師向け認知症対応力向上研修	9 月	白井恭子	新潟県福祉保健部高齢福祉保健課
	令和 5 年度 結核研修会	11 月	白井恭子	新潟市保健所
	南区在宅医療・介護の公開講座 ACP 人生会議	令和 6 年 2 月	白井恭子	新潟市南区役所健康福祉課
	令和 5 年度 福祉サービスに関する苦情解決責任者等研修		平恵理子	新潟県福祉サービス運営適正化委員会

* 社会福祉協議会主催の研修に併せて、ウェビナーや株式会社ツクイから提供される E ケアラボを使用し研修を実施した。

8. 建物・設備等の保守点検の状況

(当該年度 年間実績)

危険箇所・損傷箇所	具体的な状況	対応
7 月：花ユニット (居室 8) ベッド	電源コードの破損。また、足固定部品 4 脚うち 1 脚破損。	中古ベッド 1 台購入。 また、破損箇所以外の部品取りで 1 台修理。
7 月：雪ユニット (居室 8) ベッド	下部の湾曲部分が破損。	
8 月：月ユニット (居室 6) エアコン	電源ランプ点滅、動作不能。	室外機の基盤故障にて新品購入。
8 月：雪ユニット (居室 8) 水道減圧弁	異音、お湯が出ない、水量が弱い。	部品の交換。
9 月：インカム	使用中に直ぐ充電切れになる、雑音が聞こえる。	修理不可能、新品購入。
10 月：PHS	水没により 1 台使用不可能。	修理不可能、新品購入。
10 月：厨房冷蔵ファン モーター	異音あり。	モーターの故障、部品交換。
11 月：ノートパソコン	本体の電源が勝手に切れる。常時、反応が悪い。Wi-Fi 環境があるものの繋がりにくい。	ハードディスクの経年劣化が原因、今後も問題症状等が懸念されることから新品を購入。
3 月：浄化槽の放流 ポンプ取替工事	浄化槽内の放流ポンプは、原則 2 台一組で設置。 ① 1 号機 漏電により完全に故障、常時ポンプが回り続けている。 ② 2 号機 (※予備機) 現在作動中だが、故障した場合は浄化槽内等や排水管内に水が溜まり汚水が溢れてしまう可能性大。また、再度ポンプが漏電し、施設内で停電することが懸念。	業者から状況確認済。近日中に修理予定。

3月：月ユニット浴室の給湯器（24号機）	浴室、脱衣場、キッチンのお湯が出ない。異音もする。	耐用燃焼数の2倍時間使用していること、安全装置の異音等含み、給湯器自体の寿命、新品購入。
----------------------	---------------------------	--

9. その他の報告事項

- ・令和5年5月新型コロナウイルス感染症の5類感染症へ移行に伴い、陰圧室を撤去し、直接面会へ緩和した。
- ・令和5年6月口腔に関わる管理体制の整備を目的に歯科医院と協定を締結した。
- ・令和6年1月1日に能登半島地震が発生、新潟市は震度5強。災害対策委員を主導に入居者及び職員の安全を確保した。エレベーターが緊急停止、一部停電、断水、水漏れ等の被害あり。また、津波情報にて一階の入居者様9名、救命用タンカを使用し二階へ垂直避難。翌日、浄化槽が漏電し施設の一部で停電があった。今回の反省点を災害対策マニュアルやBCP（自然災害時における継続計画）の見直しを行った。